

慢性炎症

炎症の慢性化機構の 解明と制御に向けた 基盤技術の創出

【研究開発目標】

炎症の慢性化機構の解明に基づく、がん・動脈硬化性疾患・自己免疫疾患等の予防・診断・治療等の医療基盤技術の創出

研究開発総括 (PS)

宮坂 昌之

大阪大学未来戦略機構 特任教授
フィンランドアカデミー FiDiPro 教授

本研究開発領域では、炎症が慢性化する機構を明らかにし、慢性炎症を早期に検出し、制御し、消滅させ、修復する基盤技術の創出を目的とします。

具体的には、(1) 炎症制御の破綻機構を明らかにすることにより、炎症の慢性化を誘導、維持する因子を同定する、(2) 炎症の慢性化によりどのようにして特定の疾患（がん、神経変性疾患、動脈硬化性疾患などを含む）が発症するのか、その機序を明らかにし、制御する基盤技術を創出する、(3) 炎症の慢性化の早期発見および定量的な評価を可能にする基盤技術を創出する、などを目指した研究を対象とします。なかでも、従来の基礎のみ、あるいは臨床のみの研究ではなく、十分なエビデンスに基づいた知見を高次炎症調節機構の理解にまで昇華させ、新たな先制医療基盤技術の開発につなげられるような視点をもつ研究を重視します。

アドバイザー

- 稲垣 暢也 京都大学大学院医学研究科 教授
- 今村 健志 愛媛大学大学院医学系研究科 教授
- 植松 智 千葉大学大学院医学研究院 教授
- 大杉 義征 大杉バイオファーマ・コンサルティング株式会社 代表取締役会長
- 高 昌星 社会医療法人城西医療財団 理事 城西病院 院長
- 高津 聖志 富山県薬事研究所 所長
- 高柳 広 東京大学大学院医学系研究科 教授
- 瀧原 圭子 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 教授
- 村上 正晃 北海道大学遺伝子病制御研究所 所長 大学院医学院 教授
- 横溝 岳彦 順天堂大学大学院医学研究科 教授
- 吉村 昭彦 慶應義塾大学医学部 教授

※肩書きは終了年度当時

平成22年度採択

RNA 階層における炎症の時間軸制御機構の解明

浅原 弘嗣

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授

次世代の生体イメージングによる慢性炎症マクロファージの機能的解明

石井 優

大阪大学大学院医学系研究科 教授

脳内免疫担当細胞ミクログリアを主軸とする慢性難治性疼痛発症メカニズムの解明

井上 和秀

九州大学大学院薬学研究院 教授

炎症性腸疾患の慢性化制御機構の解明と治療戦略の基盤構築

清野 宏

東京大学医科学研究所 教授

炎症の慢性化における造血幹細胞・前駆細胞ニッチの役割とその制御

長澤 丘司

大阪大学大学院生命機能研究科 教授

プロスタグランジンを引き金とする炎症慢性化機構の解明

成宮 周

京都大学大学院医学研究科 特任教授

慢性炎症に伴う臓器線維化の分子・細胞基盤

松島 綱治

東京大学大学院医学系研究科 教授

平成23年度採択

老化関連疾患における慢性炎症の病態生理学的意義の解明

赤澤 宏

東京大学大学院医学系研究科 講師

気道炎症の慢性化機構の解明と病態制御治療戦略の基盤構築

中山 俊憲

千葉大学大学院医学研究院 教授

慢性炎症による疾患発症機構の構造基盤

濡木 理

東京大学大学院理学系研究科 教授

臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発

松本 満

徳島大学先端酵素学研究所 教授

稀少遺伝性炎症疾患の原因遺伝子同定に基づく炎症制御法の開発

安友 康二

徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授

環境応答破綻がもたらす炎症の慢性化機構と治療戦略

山本 雅之

東北大学大学院医学系研究科 教授

消化器がんの発生・進展過程における慢性炎症の誘導と役割の解明

大島 正伸

金沢大学がん進展制御研究所 教授

平成24年度採択